

2002年6月発行

日本ダイレクトマーケティング学会事務局

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町3-2 リブラビル2階

(社)日本通信販売協会ダイレクトマーケティング研究所内

電話：03-5645-2400 FAX：03-5651-1199



はじめに

第一回全国研究発表大会報告

去る6月8日(土)、明治学院大学におきまして、第一回全国研究発表大会が開催されました。大会には、200名ほどの方にご参加いただき、盛大に終えることができました。

大会当日は、10時30分より田島義博会長による会長挨拶が行われました。その中で田島会長は、ダイレクトマーケティングの展望と課題についてお話され、間接操作から直接対応へ進んでいくという意見を示され、また、ダイレクトマーケティングの課題については、今後この学会を通じて実務家と研究者が一緒になりチャレンジして行きたいと話されました。



11時からはデルコンピュータ(株) 吹野博志氏が「顧客満足へむけての限りなき挑戦」というテーマで基調講演をされました。吹野氏は、自社の企業ミッションである「カスタマーエクスペリエンス」の具体的内容について話され、顧客とのインタラクションを通じたダイレクトマーケティングとバックオフィスやサプライヤー・パートナーとの関係におけるダイレクトマーケティングの重要性について話されました。

昼食休憩をはさんで、午後13時からは千葉商科大学 井関利明氏が「顧客革命とワン・

トゥ・ワン・マーケティング」というテーマで特別講演をされました。20世紀型と21世紀型のビジネスデザインのはっきりとした違いについて説明され、ダイレクトマーケティングは21世紀型のビジネスデザインであるということについて話されました。

その後、統一論題と自由論題と会場を2つに分け、それぞれ3名ずつの学会員による研究発表が行われました。

統一論題では、P&G ファー・イースト・インク 榎村文信氏が、「バリュー・ネットによるコラボレーティブ・マーケティング」というテーマで発表。続いて、ヤフー(株)大手 智彦氏が「インターネット通販の動向—Yahoo!JAPANにおけるEコマースへの取り組み—」というテーマで発表。統一論題の最後として、一橋大学大学院 松本恒雄氏が「インターネットマーケティングの法的規制の現状と課題」というテーマで発表されました。

自由論題では、ファー・イースト・インターナショナル CORP. 原 桂一氏が「DM業界と任意共済の美味しい関係」というテーマで発表。続いて、ペン(株) 西村 莞爾氏が「消費者心理を動かして顧客を獲得・育成する方法」というテーマで発表。自由論題の最後として、専修大学 新井 範子氏が「メディアの違いによるインターネットリサーチの実用性」というテーマで発表されました。各論題とも活発な質疑が行われました。

研究発表終了後は、第一回の定期総会が行われ、平成13年度決算・平成14年度予算についての承認などが行われ、総会の最後では次回大会開催校(2003年9月予定)である学習院大学へ引継ぎがされました。

なお、この大会報告内容を詳しくまとめたものを、NEWSLETTERの号外として8月頃お送りする予定です。

学会活動報告

1. 第三回理事会議事録

開催日時：2002年6月7日(金)17時～19時

場所：明治学院大学 本館 92 号室

出席者：田島会長、上原副会長、田中副会長、石川副会長、理事・監事各位(欠席 11 名)、事務局

※第一回会員総会内容とはほぼ同様のため、詳細については省略。

2. 第一回会員総会議事録

開催日時：2002年6月8日(土)16時50分～17時50分

場所：明治学院大学 本館 1201 教室

出席者：上原副会長、田中副会長、石川副会長、理事・監事各位、学会員約 100 名

議題 1：これまでの学会活動報告

① 常任理事会・理事会(野美山理事より報告)

2001/11/26 第一回常任理事会

2001/12/3 第一回理事会

2002/3/14 第二回理事会

2002/6/7 第三回理事会

②大会運営委員会(大会運営委員長上原副会長より報告)

2001/12/25 第一回大会運営委員会

2002/2/28 第二回大会運営委員会

2002/3/28 第三回大会運営委員会

2002/4/2 第四回大会運営委員会

2002/5/14 第五回大会運営委員会

2002/6/5 第六回大会運営委員会

③研究部会運営委員会(田中副会長より報告)

2001/12/25 第一回研究部会運営委員会

④研究部会活動記録

1. Web マーケティング研究部会

2002/2/7 第一回 Web マーケティング研究部会

2002/3/27 第二回 Web マーケティング研究部会開催

2002/4/18 第三回 Web マーケティング研究部会

上原部会長：毎回各部会員の発表を行っており、前回は IBM 社

を訪問して見学会も行っている。今後も活発に活動していきたい。

2. 金融マーケティング研究部会

2002/2/22 第一回金融マーケティング研究部会

2002/3/29 第二回金融マーケティング研究部会開催

2002/5/17 第三回金融マーケティング研究部会開催

鍋田部会長：これまで、部会員の発表やゲスト講師を招いての

研究会などを進めている。メンバーがまだ少ないので、メン

バーを増やして活動していきたいと考えている。

3. 消費者行動研究部会

2002/1/28 第一回消費者行動研究部会

2002/3/28 第二回消費者行動研究部会開催

2002/4/23 第三回消費者行動研究部会開催

2002/5/21 第四回消費者行動研究部会開催

田中部会長：来年の大会での発表に向けて研究を進めている。アンケート調査を行い、分析をする予定だが、まずはグループ

インタビューを行う予定。

4. データベースマーケティング研究部会

2002/1/25 第一回データベースマーケティング研究部会

2002/3/15 第二回データベースマーケティング研究部会開催

2002/4/26 第三回データベースマーケティング研究部会開催

中澤副会長：これまでに 3 回開催。筑波大学を訪問し、大学院生の発表なども聞いた。テーマについてまだ確定して

いない部分があるが、検討しながら活動していきたい。

5. 関西部会

2002/3/1 第一回関西部会

菅原部会長：関西はまだ一回しか開催していない。この大会

を期に、関西での活動方法を検討し、年に 4 回ぐらい活動し

ていきたい。

⑤学会誌編集委員会

2001/12/3 第一回学会誌編集委員会

2002/2/19 第二回学会誌編集委員会

2002/3/14 第三回学会誌編集委員会

2002/3/31 日本ダイレクトマーケティング学会 学会誌「Direct Marketing Review vol.1」発行

福田委員長：第一号を発行した。思っていたよりも応募があった

のでよかった。来年はより一層の応募があると思うので、編集員

を増強していきたい。

⑥事務局業務報告(野美山理事より報告)

・会員管理業務(入退会管理・部会メンバー登録・入金管理など)

・ホームページ編集・管理業務

・委員会運営サポート業務

・研究部会運営サポート業務

・DM フォーラム運営業務

・学会パンフレット作成・改訂業務

・NEWSLETTER 編集・発行業務

議題 2：平成 13 年度収支決算内容(3 月末)に

について (2001/10/1~2002/3/31) ※表1参照

田中議長:監事2名(西武文理大学 教授 小山周三氏・白鷗大学 教授 川越憲治氏)による監事監査を行った。

川越監事:事務局より説明を受けたが、特に問題点は認められなかった。

田中議長:平成13年度収支・決算内容をご承認いただけるかは拍手してほしい。(拍手)

田中議長:平成13年度収支・決算内容について承認する。

議題3:今年度活動計画

① 常任理事会・理事会

野美山理事:年に数回開催していく予定

② 大会運営委員会

一第二回全国研究発表大会開催

③ 研究部会運営委員会

④ 研究部会活動計画

1. Webマーケティング研究部会

(部会長 明治学院大学 教授 上原 征彦)

部会メンバーの有志による研究発表と事例紹介
具体的内容

- e-ビジネスとはなにか
- Webマーケティングの技術としてどのようなもの適しているのか。
- Webマーケティングに向いている商品は何か。
- チャンネル選択の方向性について

上原部会長:先ほども言ったが、このようなテーマで研究発表を続けていきたい。

2. 金融マーケティング研究部会

(部会長 新潟産業大学 教授 鍋田 英彦)

●今年度活動計画

情報革命の進行、取引のグローバル化、規制緩和の流れ、異業種の参入など、伝統的な金融秩序が崩壊しつつある中で、金融ビジネスの世界ではネット取引など、売り手と買い手を結ぶ新たな仕組みが構築されつつある。当部会ではダイレクト・マーケティングの視点から金融ビジネスの変革方向と新たなマーケティング展開について研究する。

今年度は次の活動を計画している。

- 1.当面、金融マーケティングの現状を把握するために事例研究を中心に考察する。
- 2.部会員やゲスト講師による保険、証券、銀行、信販、消費者金融、流通業など業種別事例研究を行い、次年度からのテーマ別研究に結びつける。
- 3.機会があれば先進事例の企業視察なども実施する。
- 4.部会の開催頻度は2ヶ月に1回位。会場は(社)日本通信販売協会会議室。

鍋田部会長:今後は、部会としてのテーマを決めて、研究部会

活動をしていきたい。

3. 消費者行動研究部会

(部会長 上智大学 教授 田中 利見)

消費者行動部会では本年度は団塊の世代を中心に老後の生活への期待とメディアとの接触行動を研究していくつもり。特に消費者がどのようにメディアミックスして消費生活を組み立てているのかに焦点を合わせたいと思う。目下、プレ調査としてグループインタビューを企画している。

田中部会長:上智大学で、月に一度程開催してるので、ぜひご参加いただきたい。

4. データベースマーケティング研究部会

(部会長 筑波大学 教授 香田 正人)

ダイレクトマーケティングにおける戦略的な意思決定支援やCRM ビジネスモデルの構築、質の高いデータマイニング等の実施のために、データベースマーケティング(DBM)の最新動向調査と研究を行なう。

平成14年度には下記を計画している。

1. 部会員有志やゲストスピーカーによる事例研究発表
2. DBMを中心とする、我が国のCRM導入実態調査
3. 海外DBM事例研究・発表セミナー
4. DBM、データマイニング現場見学ツアー

研究部会を2~3ヶ月に1回程度(金曜日18:00~)、日本通信販売協会にて実施する。

中澤部会長:ここに書いてあるような形で、今後も進めて行きたい。また、マーケティングという視点で研究活動を行って行きたいと考えている。

5. 関西部会 (部会長 宝塚造形芸術大学 教授 菅原 正博)

菅原部会長:先ほども述べたが、研究内容としては、個人的にはダイレクトマーケティングからダイレクトブランディングに進めて行きたいと考えている。

⑤ 学会誌編集委員会

- ・2003年3月に第二号発行予定
- ・2002年10月頃より募集開始

福田委員長:たくさんの方にご応募いただければと考えている。募集は10月ごろの予定だが、締め切りに余裕はないので、早速書き始めてほしい。

⑥ 学会賞審査委員会

- ・学会賞設置について検討

石川委員長:今年度より、学会賞の設置について検討をはじめ、来年度の大会で学会賞について発表したいと考えている。

⑦ 事務局業務 (野美山理事より報告)

- ・会員管理業務(入退会管理・部会メンバー登録・入金管理など)
- ・ホームページ編集・管理業務
- ・委員会運営サポート業務
- ・研究部会運営サポート業務
- ・DMフォーラム運営業務
- ・NEWSLETTER 編集・発行業務

議題4:平成14年度予算案について(2002/4/1~2003/3/31)(野美山理事より説明) ※表1参照

田中議長:この平成14年度予算案について承認いただけるかたは拍手してほしい。(拍手)

田中議長:それでは、この予算案を承認し活動をしていきたい。

議題5:会則変更について

1. 会則 第四章 機関(役員)第9条(4)にある理事-最大25名を30名に変更したい

田中議長:現在の理事の定員は25名ということだが、今後の学会運営を活発に行っていくために理事の定員を30名に増やした方が良いとの意見があった。承認頂ける方は拍手してほしい。

一同:拍手

田中議長:それでは、会則を変更する。

議題6:役員変更及び新役員を選出

1. 理事の変更

田中議長:現在、日本ユニシス(株)本宏一氏に理事をお願いしているが、社内の諸事情により理事を鈴木郊二氏に変更し、理事を

お願いしたい。承認いただける方は拍手願してほしい。(拍手)

田中議長:それでは、鈴木氏に理事をお願いしていきたい。

2. 新規理事の採決

青木 幸弘(学習院大学 経済学部 教授)

池森 賢二(株)ファンケル 代表取締役社長)

田中議長:続いて、先ほど変更された会則に基づき、新理事の選出について討議したい。日本通信販売協会の会長に(株)ファンケル 池森社長が就任されたため、学会事務局と日本通信販売協会とが連携し、スムーズな学会運営を行うためにも、池森社長に学会の理事をお願いしたいと考えている。また、田島会長のご推薦で学習院大学の教授であられる青木幸弘先生に理事をお願いしたいと考えている。承認いただけるかたは拍手してほしい。

(拍手)

田中議長:それでは、承認されたのでお二方に今年度より理事をお願いしたい。

議題7:その他

田中議長:最後に、来年度全国研究発表大会開催校への引継ぎを行いたい。来年の大会は学習院大学で9月に開催するとい

う

ことで拍手を持ってご同意いただきたい。(拍手)

田中議長:それでは以上をもって第一回定期総会を終了する。

表1:第1期 収支計算書

(平成13年10月1日~平成14年3月31日)

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額		金額
大会費	574,560	会費収入	6,055,000
設立総会費	574,560	正会員 (@10,000 × 133名)	1,330,000
会場費	28,000	特別会員 (@5,000 × 5名)	25,000
DMフォーラム	28,000	賛助会員 (@50,000 × 94口)	4,700,000
広報費	26,250	雑収入	83,426
HP作成費	26,250	雑収入(DMフォーラム)	83,000
印刷費	686,642	受取利息(普通預金)	426
会報誌	40,598	繰入金収入	3,000,000
学会誌	646,044	JADMA基金より	3,000,000
事務委託費	630,000		
人件費	86,000		
交通費	156,770		
通信費	192,227		
会合費	76,850		
雑費	175,301		
次期繰越	6,505,826		
支出の合計	9,138,426	収入の合計	9,138,426

表2:平成14年度予算

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
大会費	1,000,000	会費収入	7,070,000
会場費	150,000	既存会費収入	6,250,000
(DMフォーラム)		正会員(@10,000 × 142名)	1,420,000
事務委託費	1,200,000	特別会員(@5,000 × 6名)	30,000
人件費	800,000	賛助会員(@50,000 × 96口)	4,800,000
広報費	260,000	新規会員増加予定(純増)	820,000
HP維持・管理費	60,000	正会員(@10,000 × 30名)	300,000
会報作成費	200,000	特別会員(@5,000 × 4名)	20,000
印刷費	2,120,000	賛助会員(@50,000 × 10口)	500,000
会報	100,000	大会収入	1,000,000
学会誌	900,000	会員(@10,000 × 70名)	700,000
大会予稿原稿	700,000		

名簿	120,000	非会員 (@10,000 × 30名)	300,000
封筒等	100,000	催事収入	300,000
その他	200,000	DM フォーラム	
通信費	1,060,000	(@2,000 × 50人 × 3回)	300,000
会報等郵送代	160,000	前期繰越	6,405,988
学会誌郵送代	200,000		
その他郵送料	700,000		
会合費	300,000		
部会活動費 (@50,000 × 5)	250,000		
交通費	900,000		
雑費	300,000		
次期繰越	6,435,988		
支出の合計	14,775,988	収入の合計	14,775,988

投稿案内

NEWSLETTER は会員の皆様の交流の場です。会員各位の積極的な投稿をお願いいたします。字数は1200時程度でお願いいたします。投稿は学会事務局で受け付けております。